

2026年5月31日

# 週報

## 「招詞」

まことに御怒りは東の間  
いのちは恩寵のうちにある。



夕暮れには涙が宿っても  
朝明けには喜びの叫びがある。

詩篇 30 篇 5 節

## 那須キリスト教会

〒329-3222

栃木県那須郡那須町大字寺子丙 1-158

Tel 0287-72-5455



ホームページ : <https://nasu-kirisuto.kyoukai.jp>  
YouTubeでの礼拝ライブ配信は、下記で検索してください  
2026年5月31日 那須キリスト教会 主日礼拝

5月31日

# 主日礼拝

司会・奏楽：塚原 恵子姉

前 奏

招 詞 詩篇 30 篇 5 節 (旧 P960)

頌 栄 2 編 1 (1、2 節)

主の祈り

交 読 文 詩篇 第 108 篇 (「新聖歌」巻末交読文による)

祈 禱 塚原 恵子姉

讃 美 歌 312 (1,2)

聖 書 詩篇 30 篇 (旧 P959)

説 教 「いのちは恩寵のうちに」 安食 弘幸 牧師  
(峰町キリスト教会)

讃 美 歌 529 (1,3)

使徒信条

献 金 547

頌 栄 539

祝 禱 安食 弘幸 牧師

後 奏

## 【本日の聖書 (新改訳 2017)】

詩篇 30 篇 (旧 P959)

ヤコブの手紙 1 章 14、15 節 (新 P458)

申命記 30 章 19 節 (旧 P370)

サムエル記第Ⅱ 24 章 (旧 P587)

## 【報告】

- ヤフーによると、「台風 6 号は、31 日(日)午前 6 時現在、沖縄の南にあって、時速 15 キロで北北西へ進んでいます。」とのこと。 台風の進路にあたる地域の方々は、不安な日々を過ごすことでしょう。被害がないことを心からお祈りいたします。 台風の被害を耳にすると、平成 10 年 8 月 27 日の「台風第 4 号」が那須町にもたらした被害を思い出され、今もその時の様子が鮮明に残っています。神さまに祈ることと同時に、台風への備えをしっかりとしたいと思います。尚、今年の梅雨は、晴れば例年以上の蒸し暑さ、雨が降る時には激しく降るとの予想です。これからの季節、特に体調管理に留意しましょう。
- 本日の「ひつじかい」は、「讚美と恵みのひととき」です。
- 本日の愛餐会は、ピラフ と ポトフ です。
- 礼拝は、YouTube でライブ配信をしております。どうぞご覧ください。

## 【次週の予告】

6/7 日(日) 主日礼拝

説教題： 「わたしのやめとま」

聖書箇所： 使徒の働き 5 章 12～32 節

説教者： 渋沢 宝 伝道師 (峰町キリスト教会)

讚美歌： 2 編 1(1, 2). 529(1, 3). オレンジファイル 13「あなたをたたえ」. 539.

## ようこそ那須キリスト教会へ！

〔はじめての方へ〕

- ・よくおいでくださいました。神様と共に喜んで歓迎いたします。
- ・聖書（新改訳 2017）、讚美歌をお持ちでない方は、教会備え付けのものをお使ください。
- ・礼拝順序など、となりの方に遠慮なくお聞きください。
- ・礼拝献金は、感謝の“しるし”として献げるものです。額は自由です。受付にある封筒をご利用ください。
- ・ご相談のある方は、担当の者が承ります。お声をかけてください。
- ・集会は下記の通りです。

- |                 |                    |
|-----------------|--------------------|
| ★ 「礼拝」(日)       | 午前 10 : 30～12 : 00 |
| ★ 「聖書の夕べ」(火)    | 現在お休み中です。          |
| ★ 「やさしい聖書の話」(水) | 現在お休み中です。          |

# 泉のほとりぞ

## 「宝はどこにあるか」

マタイによる福音書 6章16〜24節

吉村和雄 キリスト品川教会名誉牧師

「聖書日課366編

主の恵み、日々新たに」より

天に宝をたくわえなさい。この地上に宝をたくわえても、虫が喰い、錆がつき、盗人が押し入って奪ってしまふ。虫も錆も盗人もいない、天に宝をたくわえなさい。このキリストの言葉はよく知られている言葉です。事実をありのままに見れば、確かにその通りでしょう。

バブルが崩壊して株価が暴落し、そのために大損をした人が大勢います。この世の富が当てにならないことは、皆よく知っています。

しかしわたしたちの心のどこかに、そんなことを言っていたって、という思いがある。イエスさま、この世はそんなきれいなことではないのです、と言いたくなるのです。ここは天国ではないのです、と。

でも忘れてならないことは、主イエスはこの言葉を、豊かで生活の不安のない人たちに語っているのではない、という事です。語られたのはユダヤの民衆です。明日のパンをどうしようか、という人たちです。きれいごとが通じる人たちではなかったのです。

あなたがたは、「自分のために」天に宝をたくわえよ、と主イエスは語っています。わたしたちがすること、していることはみな、自分のためです。でもそれが本当に自分のためになっているか。あなたを生かす道であるのか。そう主は問うておられる。この問いは真剣です。な

ぜなら、主イエスこそ、わたしたちを生かすために命を投げ出された方だからです。

曾野綾子さんが紹介している話です。戦争末期の沖縄で、ひとりの米兵が村人たちに自分の持っていたチョコレート差し出し続けても、毒が入っていると思っても受け取ってくれなかったことがありました。彼は初めて自分のチョコレートを受け取って食べてくれた少女の前で男泣きに泣いたと言います。愚かしい戦場の中で、この少女だけが彼に、人間として生きる場を与えてくれたのだと。

戦いに勝利し、あふれかえるほどのものを持ちながら、人間として生きる場を持たないこともありまふ。そういう自分を真実に生かすもの、それが宝です。

それは、この地上にではなく、天に、主イエスの中に見出すべきものなのです。

